

魚の城下町

羅臼町広報誌

みんなが主役のまち

9
2023

No. 320

町ホームページ



公式Facebook



公式Instagram



公式X(旧Twitter)



公式LINE



防災を学ぼう!

～ 羅臼小学校で一日防災学校実施 ～

今月の主な話題

- 令和5年度 羅臼町総合防災訓練 2
- 人手不足と旅行者をつなぐ「おてつたび」 4
- 令和4年度 ふるさと納税報告 5

令和5年度

羅臼町総合防災訓練

災害時における連携強化及び町民の防災意識向上を目指して



7月30日(日)午前9時30分より、羅臼漁港中央埠頭周辺において、羅臼町防災会議主催による羅臼町総合防災訓練を6年振りに実施いたしました。



訓練当日は恵まれた天候の下、円滑に訓練を実施する事ができ、約120名の町民の皆様にご来場いただきました。

訓練は海上部門から始まり、初動対応の確認、情報伝達訓練、災害ボランティアセンター開設訓練、流出油防除訓練、緊急物資海上輸送訓練、船舶火災消火訓練、海上漂流者救出搬送訓練、孤立地域からの急患搬送訓練を実施しました。

陸上部門では、燃料供給訓練、照明確保・排水訓練、事故車両における負傷者のトリアージ及び要救助者救出訓練を実施しました。

また、避難所体験や災害時備蓄品の展示、啓発物資の配布、災害時に

活用できる技術を学べる体験コーナーを設置し、来場者の災害時の対応力の向上に繋がる場となりました。

陸上自衛隊、羅臼町女性団体連絡協議会、羅臼町連合町内会、LPガス協会羅臼支部では、実際の災害派遣の際に炊き出しを行う車両や羅臼町の災害備品を活用して、連携した炊き出し訓練を行い、カレーライス、豚汁の配給を行いました。

今回の訓練では、羅臼町防災会議構成団体の他に、町と災害時の協力に関する協定を締結している民間企業、団体から14機関が参加し、訓練や準備を通じて防災関係機関との顔の見える関係を構築し、連携を深めるとともに、来場者の防災意識の向

上を図ることができました。

羅臼町総合防災訓練は通常、2年に1度、地震津波災害が発生した場合に備えて、関係機関の連携強化及び町民の防災意識向上を目的として実施しています。

自然災害については、発生を防ぐことは不可能ですが、災害時の被害を最小化する「減災」の考え方を基本として、各防災関係機関が町民の生命、身体及び財産の保護について万全を期するため、また、町民の「自分の命は自分で守る」という自助の意識を高めていただくために、本訓練については今後も継続して実施して参ります。

町民の皆様におかれましては、近年、全国的に発生している地震を始めとした災害を自分事ととらえ、今一度、災害が起きたときのことを考え、「今できることを準備する『いつもの備え』」を心掛けましょう。



1. 流出油防除訓練

(羅臼海上保安署・羅臼標津地区沿岸海域排出油防除協議会・小針土建株式会社)



2. 緊急物資海上輸送訓練

(知床羅臼遊漁釣り部会・株式会社セコマ・羅臼町)



3. 火災船舶消火訓練
(羅臼海上保安署・羅臼消防署・羅臼救難所)



4. 要救助者受入訓練
(知床らうす国保診療所・羅臼消防署)



5. 燃料供給訓練
(北海道経済産業局・北海道エネルギー羅臼SS・羅臼アポロ石油)



6. 事故車両からの要救助者救出訓練
(陸上自衛隊第27普通科連隊)



7. 炊き出し訓練
(羅臼町連合町内会・羅臼町女性団体連絡協議会・LPガス協会羅臼分会・陸上自衛隊)



8. 防災備蓄品展示・啓発物資配布
(羅臼町)



9. カロリーメイトロングライフ、
ポカリスエット粉末展示・配布
(大塚製薬株式会社)



10. 消火器による初期消火訓練
(羅臼消防署・羅臼消防団)



11. 災害時支援用自動販売機による
飲料水の無償提供
(北海道コカ・コーラボトリング株式会社)

世界自然遺産のまち
知床・羅臼町

×
おてつたび

人手不足と 旅行者をつなぐ 「おてつたび」

おてつたびとの連携

町内の人手不足の声が多く聞こえる中、町では株式会社おてつたびと、人手不足の解消にむけた連携を始めました。

おてつたびとは、「お手伝い」と「旅」を掛け合わせたもので、地域の人手不足と旅をしたい人たちをマッチングさせる企業です。地域のお手伝いに来た旅人の多くが、その地域のファンになることが多いことから、繁忙期の人材不足解消と羅臼町のファンづくりを目的として、取り組むこととしました。

お手伝いの内容は誰でもできる作業内容であること、短期間での雇用が原則となります。

おてつたびの状況

8月中旬、町内の宿泊業4件、ホタテ養殖業1件において、おてつたびを通して全国に求人募集を行ったところ、すぐに応募があり、早速8月下旬より羅臼町でのお手伝いがスタート



宿泊施設のおてつたびの様子



ホタテ養殖事業のおてつたびの様子

しています。

募集は雇用者1人あたりの就労期間を約2週間として、5事業者合わせて15名を募集しました。その枠に対し、応募者はなんと38名！羅臼町に魅力を感じている方が多いことが分かり、歓喜しました。

神奈川県から来られた女性からは、「自然が大好きで以前から知床に来たかった。地元の食も美味しくて、休日は羅臼町内を観光して満喫させていただいている。今度は冬の観光シーズンに来てみたい。」と嬉しいお話しをお聞きすることがで

きました。

今後の動き

現在は、水産加工事業者でもマッチングできないか検討しているところですが、多くの事業所でおてつたびを活用いただき、人手不足対策を一步でも進めることができればと考えています。

今後もおてつたびとの連携を図り、人手不足の解消に力を入れるとともに、一人でも多くの羅臼ファンが増えるよう取り組んでいきます。

(産業創生課・企画振興課)

おてつたびとは…

「おてつたび」は、日本各地の素敵な地域へ行く人が増えて欲しいという想いから生まれたサービスであり、地域の困りごとをお手伝いする事により報酬を得ながら旅行をする事が可能なため、行きたかった地域に行く際のボトルネックになりがちな旅費を軽減する事が可能な点が特徴です。また、お手伝いを通じて地域の方と関係性ができ再び同じ地域へ訪れる参加者も増えており、地域のファン（関係人口）が創出されています。



おてつたびHP

全国からたくさんの寄附が集まっています!



令和4年度実績寄附申込み件数・金額

33,487件 621,257,000円

※前年実績比 件数125.5% 金額138.7%

●ほんの一部ですが、町に寄せられた寄附者の声を紹介します●

毎年羅臼昆布を頂いております。羅臼町の水産資源がこれからも発展していける様に祈っています。(兵庫県) / 気候的・地域的に厳しい環境の羅臼町ですが美味しいものの宝庫です。地域産業が発展することを祈っています。(長野県) / 1等級を買ったことがあります、その肉厚さに心底驚きました。天然1等級がふるさと納税に出品されており即決です。羅臼町を応援しています。(兵庫県) / 羅臼のウニは別格で本当に美味しくて日本の宝です!今年も楽しみにしています。(東京都) / 30年ほど前に旅行で羅臼に立ち寄りしました。素朴でキレイな海の港だったと思い出しました。また行ってみたいです。応援しています。(三重県) / 羅臼の豊かな海産物がいつまでも獲れ続けますように。いつか行ってみたいです。(東京都)

寄附金の使い道

全国各地からいただいた寄附金は、必要経費(返礼品代金、送料等)を差し引いた額を「知床・羅臼まちづくり基金」に積み立てています。令和4年度は、図書館改修・羅臼高校への補助・子ども医療費助成等の事業に充てさせていただきます。今年度も、自然保護や子育て支援、担い手育成の取り組みに有効的に活用していく予定です。



毎年人気!!
「さけ醤油いくら」



令和4年人気No.1!!
「ポタンエビ」



注目を集めてきている
「スノーピークコラボポタンマグ」

羅臼町民が羅臼町にふるさと納税をしても返礼品はもらえませんが、町外の親戚や友人に羅臼町ふるさと納税のご利用を是非宣伝していただければ幸いです。



下記QRコードから最新の情報をご覧ください



ポータルサイト
「楽天」



ポータルサイト
「ふるさとチョイス」



公式Instagram

試行錯誤の返礼品

ふるさと納税を通じたファン獲得のため

羅臼町の返礼品は水産物が中心です。イクラやタラコ等の魚卵や生ウニ、羅臼昆布、ホッケの一夜干し等は特に人気があり、羅臼を象徴する産品が多く選ばれる傾向にあります。また、自然と食を存分に堪能していただくため、旬の食材を提供する宿と観光船のコラボ品や、地元の魚介に自社特製の味付けをし、付加価値を付けたオリジナル品等、返礼品を取り扱う多くの地元事業(加工)所は、喜ばれる。また選びたくなる。羅臼に来なくなる。返礼品の研究に日々努力されており、羅臼町の水産加工業の活性化にも一躍を担っています。

羅臼町ふるさと納税に関するご意見・ご要望は産業創生課までご連絡ください。Tel87-2162(直通)

子どもたちをみんなで支えよう



9月10日～16日は自殺予防週間でした。

わが国では令和4年の児童生徒の自殺者が過去最多となっています。10代前半の自殺は予兆がないことが多く、子ども自らが周囲に悩みを打ち明けやすい環境を作り、周囲が早期に変化に気づくことが大切です。

自殺に至るまでには長い道のりがあり、いくつもの問題が積み重なっています。ただ、子どもの場合は、経験が少ないことや学校や家庭など限られた環境で過ごす時間が多いことから、そこで問題が起こってしまうと自殺に結びついてしまうこともあります。

子どもは心の状態が悪化すると、以下のような変化がみられます。

- ・これまで関心のあったことに興味を失う
- ・成績が急に落ちる
- ・自分を責めたりイライラしたりする
- ・友達と関わらなくなり、引きこもりがちになる
- ・不眠、食欲不振、体重減少などの様々な身体の不調を訴える
- ・学校へ行き渋る
- ・健康管理や自己管理がおろそかになる
- ・集中できなくなる



このような変化は子どもが救いを求めているサインです。

子どもたちに限らず、いつもと違う様子が見られたら、こころが疲れているサイン。

悩んでいる人には「あなたは一人ではないよ」「いつでも相談してね」と声をかけてください。

また相談を受けたら、専門機関も相談に乗ってくれることを伝えてください。問題が重なる前に対応方法を一緒に考えませんか。

【悩みがあったら相談を！町の相談窓口】

- 契約トラブル 環境生活課 Tel.87-2115
- 生活困窮、配偶者暴力、児童虐待 保健福祉課 福祉係 Tel.87-2161
- いじめ、学業 学務課(教育相談電話) Tel.87-3930
- 無気力、不眠、ひきこもり、健康 保健福祉課 保健係 Tel.87-2161

子育て情報ひろば ~すくすく~

ありんこは月～金
9:30～11:30まで
火・水・木は午後も開放!



羅臼町子育て支援センター『ありんこ』では毎週水曜日のありんこ広場(0歳～未就園児)や毎月1回行う、のびのび広場(2歳以上対象)で製作などを行っています。上手に作るのではなく、素材に触れる機会を設け、その素材を知り楽しむことを目的に行っていますので気軽に参加してみてくださいね!

♪10月・11月のありんこ情報♪

☆ありんこ広場(0歳～3歳対象) ☆すくすく広場(1歳未満対象・妊婦さんの見学可) ☆のびのび広場(2歳～3歳対象)

- | | | |
|------------------|------------------|-----------------|
| 10月2日(月)ママの日♪ | 10月4日(水)ありんこ広場 | 10月6日(金)すくすく広場 |
| 10月11日(水)ありんこ広場 | 10月12日(木)絵本作り | 10月13日(金)運動遊び |
| 10月18日(水)ありんこ広場 | 10月20日(金)絵本読み聞かせ | 10月25日(水)ありんこ広場 |
| 10月27日(金)のびのび広場 | 11月1日(水)ありんこ広場 | 11月6日(月)ママの日♪ |
| 11月8日(水)ありんこ広場 | 11月10日(金)すくすく広場 | 11月15日(水)ありんこ広場 |
| 11月17日(金)絵本読み聞かせ | 11月20日(月)計測 | 11月22日(水)ありんこ広場 |
| 11月24日(金)のびのび広場 | 11月29日(水)かかわり遊び | |

*絵本作りは事前に申し込みが必要ですのでお問い合わせください。
*毎週火・水・木曜日の13時～16時半まで一時預かりを行っています。事前にお申込みください。
*お問合せ先：羅臼町子育て支援センター『ありんこ』 Tel.88-1515

知床らうす国保診療所通信

～みんなで育む・みんなの診療所～

今回は、6月29日に民生委員さんを対象に行った、木島所長による講演会についてお話させていただきます。テーマは「総合診療・家庭医療について」です。

木島所長より Vol.17

年々社会保障費は膨張しています。これは医療を要する高齢者の人口が増えていることと、抗がん剤をはじめとした医療の高度化で医療費の単価が上がっていること、さらに物価上昇での人件費の増加があげられます。最近のニュースでは、アルツハイマー型認知症の一部の方に使える新薬が出て、一人あたり年間300～500万円になるという試算が出ています。

防衛費の増額や物価上昇などもあって国の財政はますます厳しくなっています。国民の納める税金では足りないくらいに国はお金を使っていて、ここ20年以上、国が私たちに借金をし続けている状態が続いています。

国債が1000兆円を超えていることを新聞やテレビなどのニュースでご存じだと思います。

これから20年ほどが特に高齢化社会の進行のピークと言われていますが、少子化の波が止まらず、現在の社会保障制度のままでは（将来の）現役世代への負担がどんどん増していくことが予想されています。国民皆保険制度という世界一の医療体制を維持するためには、医療費の効率的な使用が今後ますます重要になっていきます。

そのカギになるのが、総合診療だと言われていています。専門医による専門医療の問題点として、それぞれの専門医はその分野において利益をあげるように診療しており、はっきり言いますと、必要ではない精密検査や診断、治療をみなさんに行ってしまうため高コストになりがちです。車に例えると、トヨタのプリウス（これも十分高価かもしれませんが）で十分なところを、あえてメルセデスベンツのような高級車に乗っているようなものです。

木島が所長になった4年前にみなさんにアピールしたのは、コンビニエンスストアのような診療を目指すということでしたが、商品やサービスが全国均一であるセブンイレブンのように医療サービスを提供したいという思いからでした。

これからも高いコスト意識をもってみなさんにとって最適な医療をお届けできるよう努めて参ります。



木島所長による講演会の様子です



インフルエンザワクチンについて

予約受付開始／10月2日(月) 15:00～

予約方法／FAXもしくは電話

接種開始／10月16日(月)

料金、日程等につきましては、同日発行の町政だよりをご確認ください。

定期通院中の方は受診の際に予防接種を行うことができます。



予約について

当診療所では、外来予約や予防接種などの電話予約を8時から17時まで承っております。

個人情報観点や患者様取り違い防止のため、お手元に診察券をご用意して連絡をお願いいたします。

【予約・お問合せ先：知床らうす国民健康保険診療所 TEL87-2116】



知床未来中学校ソフトテニス部 女子団体が全道大会で3位入賞!



大会で3位という好成績を残した女子団体

知床未来中学校ソフトテニス部が全道大会に出場しました。7月28日から30日までの間、帯広市で行われた「第44回北海道中学校ソフトテニス大会」において、女子団体では、28年ぶりに全道大会で3位。男子団体についても、初の全道大会出場となりました。

部員数が決して多くない中でも、非常に優秀な成績を収めたことで、全道中に知床未来中学校の名前を広めてくれました。

今回の大会や今後の抱負について、ソフトテニス部の伏見監督と新キャプテンに任命された2年生の伏見柚乃さんにお話を聞きました。

伏見監督インタビュー

Q1 大会前の意気込みは？

A 少年団の頃からやっている3年生が多くいたので、戦える力とメンタルを持つていた。この子たちなら目標であった「全道での1勝」のチャンスがあると感じ、3年生はもちろん下の学年も気持ちを一つに大会に臨んでいたため、何としても勝たせたい想いだった。

Q2 今後の抱負について

A 有観客での全道を初めて経験した子も多く、大会の雰囲気を感じて「次も出たい」とモチベーションに繋がった。今の練習は非常に集中できているので期待しています。

伏見柚乃さんインタビュー

Q1 全道大会を通して得たものはなんですか？

A 日々の練習の重要さを改めて感じる事が出来ました。次に繋げていきたいと思っています。

Q2 今後の抱負について

A まずは管内大会での優勝を目指します。そして、3年生がいなくても全道で1勝できるように頑張ります。

今回の大会で活躍した3年生が引退し、新体制での活動がスタートしているソフトテニス部。先輩たちに負けない活躍を期待しています！



左:伏見柚乃さん 右:伏見監督



新体制となったソフトテニス部

第44回北海道中学校ソフトテニス大会

〔大会結果〕

○女子団体

(坂本琴音・成田華音・倉澤こころ・坂本結愛・福井永愛・野戸美沙希・伏見柚乃・岩原凜)

1回戦リーグ戦

第1試合 対浜頓別中 3-0 勝利

第2試合 対音更共栄中 1-2 敗退

※リーグ戦突破

準決勝 対札幌大谷 0-2 敗退

結果 団体戦3位

○男子団体

(山崎奏音・須藤嶺・伏見優歩・磯島琉生・高森耀也・川内谷統牙)

1回戦リーグ戦

第1試合 対帯広南中 0-3 敗退

第2試合 対留萌中 2-1 勝利

○女子個人

坂本結愛・倉澤こころペア

1回戦 対美唄中 敗退

坂本琴音・成田華音ペア

1回戦 対音更中 敗退

伏見柚乃・岩原凜ペア

1回戦 対北斗大野中 勝利

2回戦 対付属旭川中 敗退

○男子個人

山崎奏音・須藤嶺ペア

1回戦 対静内第三中 敗退



『図書の有効活用を目指します！』

『羅臼町図書横断検索』の運用を開始しました



『羅臼町図書横断検索』
って何だろう？

『羅臼町図書横断検索』とは、羅臼町図書館と町内各小中学校で所蔵している図書を横断的に検索できる機能です。

この横断検索は、羅臼町図書館及び学校図書館における購入図書の情報発信をすることにも、可能な範囲で有効活用していくことを

目的として、令和5年7月から令和6年3月末を試用期間として運用を開始いたしました。

クラスで使用する学級文庫や、授業等で活用する図書の学校間での共有による図書の有効活用、一般利用者からのリクエスト対応での活用を予定しています。

ただし、学校図書館所蔵の図書は、各学校での教育活動での使用を優先としていますので、一般利用者のリクエストは、羅臼町図書館所蔵図書や道内図書館との相互貸借で対応することを中心としています。それでも対応が難しく、学校の教育活動に影響がない場合、一般利用者のリクエスト対応での活用となります。

横断検索は、羅臼町図書館HP内にリンクがありますので、そちらからご利用ください。

横断検索

すべて表示

羅臼町図書横断検索

こちらから横断検索ページに移動することができます

横断検索で希望する図書が見つかった場合は、羅臼町図書館(087-2004)までご連絡ください。

図書館HPへはこちらから



第169回芥川賞・直木賞

第169回芥川賞は、市川沙央著の『ハンチバック』が受賞となりました。



第169回直木賞は、垣根涼介著の『極楽征夷大将軍』、永井紗耶子著の『木挽町のあだ討ち』が受賞しました。



3作品とも図書館で受入済みですので、ぜひご利用ください。貸出中の場合は予約もできます。

令和5年度らうすき子屋kidsを実施しました

8月1日(火)～3日(木)の3日間、小学1～3年生を対象としてらうすき子屋kidsを社会教育課と連携して実施しました。



長期休業中の子どもたちの生活習慣の改善・定着を目的として、学習・運動・読み聞かせ・調理・絵本づくりの5つのプログラムを行いました。今回のプログラムは『おにぎり』でした。

絵本づくりでは、子どもたちは、文字を書いたり、絵本のしかけを貼ったりすることに悪戦苦闘しながらも、楽しみながら一生懸命取り組んでいました。

事業のサポートとして、読み聞かせサークルや個人ボランティアなど、8名の協力いただきました。ご協力ありがとうございました。

あしたへつながる防災知識

第41弾

いざという時に備えて、保険・共済に加入しよう

風水害・土砂災害・地震などの災害が発生し、住宅や家財、車に被害があったとき、保険や共済に加入している場合と、していない場合では生活再建のために要する費用負担が大きく変わります。保険・共済に加入することで、住宅や家財、車への被害に備えることができます。

■ 火災保険

火災保険には、火災だけでなく、風災・水災・雪災・落雷などの風水害による損害を補償する商品があり、対象の損害が一定額以上に達する者であれば補償の対象としています。



■ 地震保険

地震保険では、地震・噴火またはそれらによる津波を原因とする火災・損壊・埋没・流失による損害を補償します。会社によっては、2つの保険をセットで掛けられるプランなどもあります。



ただし、対象となる災害の種類や補償内容は、保険会社・共済団体や商品により様々ですので、詳しくは個別に確認しましょう。

■ 車両保険

多くの町民の方の生活の足となっている自動車についても、自動車保険に加えて車両保険に加入する事で、台風や豪雨による被害が発生したときに備えることができます。しかし、地震・噴火による津波等の被害については補償の対象外となっている場合があるので、検討の際には補償内容をよく確認しましょう。



■ 今一度、自分の住んでいる場所で想定される被害を確認してみよう

近年、羅臼町では暴風や雪崩による住宅や家財への被害が発生しており、地震による被害についてもいつ発生するか分かりません。防災ハザードマップ等を活用し、自分の住んでいる場所ではどのような被害が想定されるかを再確認して、保険・共済への加入がまだな方はぜひ加入の検討を、既に参加している方は、現在の補償対象・内容が十分であるか見直してみましょう。



羅臼町防災ハザードマップ

持家世帯の保険・共済の加入件数・割合
(建物のみ) (内閣府試算)

火災補償あり：2,880 万件 (82%)

水災補償あり：2,307 万件 (66%)

火災補償に比べ、水災補償の加入割合は、まだまだ低い状況にあります。

※損害保険料率算出機構資料(2015年度末における全保険会社の建物(住宅)を対象とした火災保険保有契約を集計)及び日本共済協会資料(2015年度末におけるJA共済連、JF共済連、全労済、全国生協連の建物(住宅)を対象とした共済保有契約を集計。住宅のみのデータ抽出が困難なものを除く)をもとに、内閣府試算

東日本大震災で全壊被害に遭った住宅の新築費用は、平均して約2,500万円で、それに対して公的支援として受給できるのは、善意による義援金をあわせても約400万円にとどまりました。



《出典》「水害・土砂災害から家族と地域の人々を守るには」5. 備えよう「保険の活用」(内閣府(防災担当))【内閣府広報誌「ぼうさい」引用】

【お問合せ先：総務課防災担当 TEL87-2111】

わたしたちが地域おこし協力隊です

「立石日記@らうす」

夏が終わり秋の涼しさを感じる季節となりました。
今年の夏はとても暑い日々が続きましたね…。半袖が大活躍する夏となりました。

さて今年度は5回、にっぽん丸が羅臼町に来てくれましたよ！
大きな船が止まっているのをご覧いただけましたか？



船内では羅臼の食材を使用して作ったメニューが提供された「羅臼ダイニング」が実施されました！「羅臼のお刺身」「ドスイカサラダ」「羅臼昆布素揚げ砂糖がけ」等々盛りだくさんのメニューでした。写真は「羅臼町商工会サービス業部会」の皆様です。
また船内にて羅臼町のPRを行いました。たくさんの方にお聞きいただくことができました！

これからもたくさんの方に羅臼の魅力をお伝えできるよう頑張ります！(^ ^)!

(産業創生課地域おこし協力隊：立石)



「羅臼のときめき@ご報告」

「こんなに暑さが続くなんで!!」という叫び声が、今年の夏はあちらこちらから聞こえてきました。少し涼しくなったかと思いきや30℃越え。この繰り返しで夏バテになり、扇風機が手放せませんでした。あの秋冬の寒さが欲しくなるような…そんな夏でした。

さて、突然ですがご報告です。この度私は、職場である観光協会のお仕事以外に個人事業主としてデザインに関する活動を始めました！
これまで観光協会では通常業務の他にチラシやポスター、記念切符などデザインさせていただきました。引き続き観光協会のお仕事を続けながら、パンフレットやポスター、チラシ、グッズなどなどデザインに関するご相談をお受けいたします。皆様のお役に立てるよう活動して参りますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

(産業創生課地域おこし協力隊：新倉)



「暑いですね…いや、ほんとに…笑」

地域おこし協力隊の仕事が決まった今春、「やったあ、今年はその蒸し風呂のような夏を経験せずに過ごせる!!」とワクワクしていたのを思い出します…笑 たしかに暑い暑いですが、大分県出身からすると、まだ風が涼しかったり、夜になると気温が下がったりする分、断然快適です！

さて先日、1週間の夏休みで羅臼を離れていました。久しぶりに羅臼に帰ってくると、自分はなんて素晴らしい場所に住んでいるのだろうと、初めて羅臼に来た時と同じ感覚になりました。これからもさらに羅臼の魅力をいろんな角度から、いろんな形で発信したいと思っています。なお、普段より取材等でお邪魔させていただいている町民の皆様には、心よりお礼を申し上げます。今後もよろしくお願いいたします。

(企画振興課地域おこし協力隊：近藤)





7月22日(土)・23日(日)

快晴！4年ぶりに こんぶフェスタ開催！

コロナ禍を乗り越え「第7回しれとこ羅臼こんぶフェスタ」が開催されました。

4年ぶりの開催となる今年は、会場を本町旧国道通りから道の駅知床・らうすに移し、装いも新たに多くの来場者に羅臼昆布の魅力をもっとアピールしました。

当フェスタは町内の異業種による若者が集まった羅臼町活性化ワーキンググループが中心となり、「みて・さわって・たべて」をコンセプトに昆布漁の行程が体験できるブースや羅臼昆布をつかったグルメコーナーを設け、会場では地元の方、観光で訪れた方、海外の方、子どもからお年寄りまで多くの方の笑顔があふれていました。

イベント期間中は天候にも恵まれ、大盛況のうちに幕を下ろしました。



8月12日(土)・24日(木)・30日(水)

一人ひとりの思いを集めて、 北方領土の返還を

8月の北方領土返還要求運動強調月間に合わせ、羅臼国後展望塔と道の駅知床・らうすにて、北方領土返還要求署名運動を千島連盟羅臼支部と合同で行いました。

北方領土返還に向け町内外の多くの方々に署名を頂くことができました。

羅臼国後展望塔では通年、署名活動を行っていますので、より一層返還要求運動を盛り上げるため、引き続き皆様のご理解とご協力をお願いします。





8月30日(水)・9月2日(土)・5日(火)・8日(金)・11日(月)

飛んでクルーズ北海道 ～にっぽん丸寄港～

今年も商船三井客船の「にっぽん丸」が羅臼港へ寄港しました。にっぽん丸は小樽を出発し、利尻島を經由して羅臼町へ寄港する「飛んでクルーズ北海道」ツアーで毎年寄港しています。

寄港後、乗船客のみなさんは羅臼湖トレッキングやイクラづくり体験等のオプションツアーに参加されるなどして、世界自然遺産知床・羅臼の自然を満喫している様子でした。今年の「羅臼ダイニング」は船内にオープンし、乗船客のみなさんに羅臼の海の幸をお召し上がりいただきました。

また、にっぽん丸船内見学会が実施され、町民および中学生のみなさんが参加されました。短い時間でしたが、豪華な船内を満喫しているようでした。

にっぽん丸寄港に伴いご協力いただきました皆様、ありがとうございました。



建設の地域貢献

6月下旬に三友舗装株式会社様（中標津町）が、町道市街1号線他2線、計3路線の町道の舗装を地域貢献にて一部補修してくださいました。
ありがとうございました。



TAXコラム

(税務財政課通信)



「国民健康保険証の切替はお済みですか？」

7月に「国民健康保険証」を郵送しております

国民健康保険に加入されている世帯の世帯主の方あてに国民健康保険証を郵送しておりますのでご確認ください。

国民健康保険税や町税等を滞納している方（世帯）には、保険証は郵送しません

役場にて、納税相談等を行ったあとに交付しますので来庁してください。

国民健康保険税の滞納状況等により、保険証の有効期限が短くなっていますので、納税相談を実施してから更新となります。

「資格証明書」の交付対象者（世帯）は、保険証が発行されません

病院等に受診した場合は、「資格証明書」を提示して、10割負担となります。

10割負担をした領収書を国保係に持参してください。7割分の還付の手続きを行い、還付金を税に充当します。

資格証明書は、健康保険証の短期交付の方（世帯）で、納税状況等が悪質だと判断された方（世帯）に交付されます。

【9・10月の休日・夜間窓口】

〈休日窓口〉10月29日(日) 午前9時～午後5時まで

〈夜間窓口〉9月29日(金)、10月31日(火) 午後7時まで

【お問合せ先：税務財政課 TEL87-2113】



羅臼町 ゼロカーボン通信 vol.2

ゼロカーボンシティ（脱炭素社会）の実現には、一人ひとりのライフスタイルの転換が重要です。日常生活の中で脱炭素行動と暮らしにおけるメリットを、8つのカテゴリーに分け「ゼロカーボンアクション30」として整理しています。

今回は「ゼロカーボンアクション30」をテーマに、カテゴリー別に紹介していきます。

太陽光パネル付き・省エネ住宅に住もう！

このカテゴリーでは住まいに関して、7つのアクションが整理されています。

中でも、『太陽光パネルの設置』は『蓄電池・蓄エネ給湯機の導入・設置』と組み合わせることで、年間の電気代の節約から、災害時の非常電源としても期待できます。

電気代が高騰している中、設置を検討してはいかがでしょうか。

次回は、「CO2の少ない交通手段を選ぼう！」をご紹介します。



ゼロカーボン
アクション30

「ゼロカーボンアクション30」の詳しい取り組みは、記載のURLかQRコードよりご確認ください。
<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/zc-action30/>



ヒグマの対応状況をお知らせします



ヒグマの対応・出没状況、捕獲状況や対策などの情報を2ヶ月毎にお伝えしています。

7～8月は、ヒグマの対応が増えています。今年はずでに、駆除の頭数も今までで二番目の多さになりました。人の活動域に近づくようなクマを生み出さないよう、皆様の日ごろからのご配慮をよろしくお願いします。



今年は食料が乏しいため、草の根を掘って食べた掘跡が各所で目立ちました。

7月、8月のヒグマ対応状況

◆対応件数149件（前年度47件）

- ◇春日町で、住宅に付属する階段風除室のガラスがヒグマに破られました。
- ◇サケマスの遡上の減少など、ヒグマの食料不足のため、各地で出没が多い夏になりました。

7月、8月のヒグマ駆除状況

◆17件 18頭を駆除（前年度4件 4頭）

- ◇自宅前に親子グマがいたため、8月23日と27日に親子グマ3頭を駆除。
- ◇知床岬で、人につきまとう行動をするヒグマを、7月27日に駆除。

クマ対策のお願い

- 生ごみは外に置かない、魚は2階などクマが届かない場所に干す、ごみは収集時間の直前に出すなど、クマを引き付けない対策に、皆様のご協力をお願いします。
- クマの目撃や被害の連絡が無かったり遅れたりすると、クマの対応も適切に実施できず遅れることになります。極力速やかな役場への連絡をお願いします。

羅臼町では、ホームページに出没場所や日時、捕獲状況などの「ヒグマ出没情報」を掲載しております。

また、北海道新聞の根室版にも同情報を掲載頂いております。



ヒグマ出没情報

24時間対応

ヒグマの目撃やシカなどの動物の死骸を発見した際は、産業創生課(Tel: 87-2126)までご連絡ください。

市民講座

空飛ぶ救急救命室



入場無料・申込不要

～ドクターヘリ～

基地病院として活躍している市立釧路総合病院フライトドクターをはじめフライトナース、ドクターヘリを運行している中日本航空CS（コミュニケーションスペシャリスト）による市民講座を開催します。

実際に活動しているドクターヘリの公開訓練の見学会や、訓練終了後にはドクターヘリの展示見学も行います。

講師：市立釧路総合病院のフライトドクター、フライトナース、ドクターヘリ中日本航空CS（コミュニケーションスペシャリスト）
日時：11月4日(土)
 ドクターヘリ公開訓練（13時～13時45分）
 市民講座（14時～15時30分）
場所：釧路市観光国際交流センター
お問合せ：釧路孝仁会記念病院 事務部総務課 平田（Tel0154-61-0122）

主催：第30回日本航空医療学会総会 共催：市立釧路総合病院・釧路孝仁会記念病院
 （大会長：社会医療法人孝仁会理事長 齋藤 孝次）

おくやみ申し上げます



(敬称略)

赤ちゃん誕生



(敬称略)



町長室



災害への心構え

今年の夏は暑かったですね。羅臼町で30度を超えることはなかなか無く、慣れていないので体調を崩された方もいたのではないのでしょうか？例年ならお盆を過ぎたら急激に涼しくなっていくのですが…これも地球温暖化のせいなのでしょう？

8月には、台風などの影響等により全国各地で災害が発生しました。このような災害は羅臼町も例外ではなく、いつ起こってもおかしくありません。過去にも多くの自然災害を経験してきましたが、近年は甚大化する傾向にあります。羅臼町ではしっかりと準備をしていますが、地震、台風による大雨や土砂災害、高潮などに警戒をお願いします。出来る限りの情報は発信しますので、早めの対応と発生時に自分の身を守る行動をお願いします。

これから羅臼町が一番活気づく秋を向かえます。災害や事故が無く大漁で安心して暮らしていける活気あるまちづくりを目指していきます。町民皆様の心構えとご協力をお願いいたします。

寄付・寄贈ものがいっぱいありました

【羅臼町体育文化振興基金】

羅臼アポロ石油株式会社

代表取締役社長 村田 泰次郎 様

【知床・羅臼まちづくり基金】

羅臼アポロ石油株式会社

代表取締役社長 村田 泰次郎 様

【その他、目的達成のために町長が必要と認める事業】

(令和5年7月11日～9月10日受付分掲載)

人の動き

令和5年8月末現在 ()内は令和5年7月末対比

人口 4,387人 (- 5) 男 2,184人(+ 3)
世帯 2,005世帯(± 0) 女 2,203人(- 8)

◆表紙：羅臼小学校で一日防災学校

9月8日に羅臼小学校で一日防災学校が実施されました。普段間近で見ることのできない特殊車両の展示が行われ、車両の説明を聞いたり乗車したりしながら、楽しく学習している様子でした。また、防災備蓄品について学習したり、段ボールベッドや避難用テントの組み立てなどを実際に行いました。一日防災学校は町内全ての幼稚園、小中学校で実施しています。

羅臼町民憲章

(昭和45年9月15日制定公示)

わたしたちは、雄大な知床連峰と、オホーツクの海原の大自然にはぐくまれた、羅臼の町民です。

- 自然を愛し先人の強い意志をうけつぎます。
- 健康で明るくたのしい家庭をつくります。
- 教養を高め、豊かな情操を育てます。
- 仕事に誇りをもち、はたらく喜びに生きます。
- 子どもたちの夢と、若い力を育てます。



世界自然遺産のまち・知床羅臼町



■広報らうす 令和5年9月号

編集／羅臼町 企画振興課 企画振興係
〒086-1892 目梨郡羅臼町栄町100番地83
☎0153-87-2114
<http://www.rausu-town.jp/>